

# 調査結果の概要

## [ 1 ] 学校調査

### 1 幼稚園

- (1) 幼稚園数は220園(国立1園、公立146園、私立73園)で、前年度より公立が2園減少している。  
 私立幼稚園を設置者別にみると、学校法人立67園(91.8%)、個人立4園(5.5%)、宗教法人立2園(2.7%)となっている。(表1「園数」参照)
- (2) 学級数は626学級で、前年度より1学級減少している。編制方式別にみると、5歳児のみの学級が282学級で最も多く、次いで4歳児のみの学級166学級、3歳児のみの学級129学級の順となっている。(表1「学級数」参照)
- (3) 園児数は12,544人(男子6,388人、女子6,156人)で、前年度より194人増加している。年齢別では、5歳が6,019人(48.0%)と最も多くなっている。(表1「園児数」参照)  
 また、設置者別では、私立8,566人(68.3%)、公立3,821人(30.5%)、国立157人(1.3%)となっており、昭和62年度から連続して私立が国・公立の園児数を上回っている。
- (4) 教員数(本務者、但し教育補助員は除く)は999人(男子70人、女子929人)で、前年度より8人増加している。本務教員1人当たりの園児数は12.6人で、前年度より0.1人増加している。
- (5) 就園率は61.3%で、前年度より0.7ポイント低下している。全国平均は55.1%となっており、前年度より0.6ポイント低下している。(図1参照)

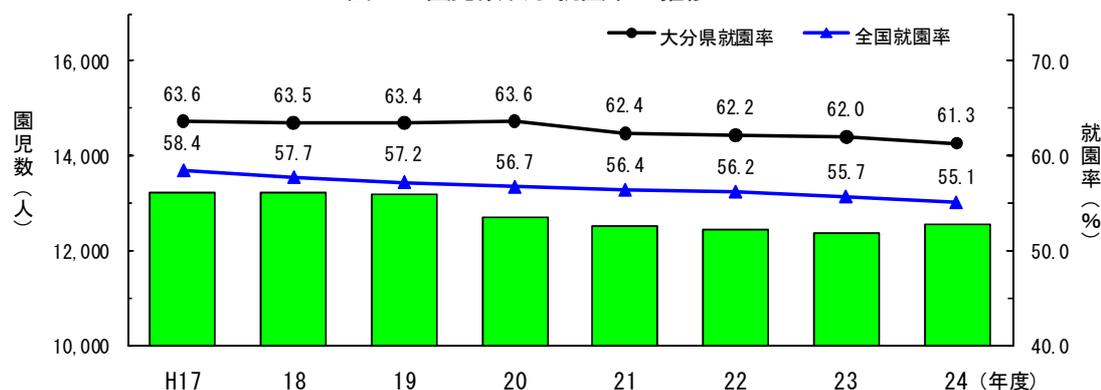
表1 幼稚園の状況

(単位：園、学級、人)

区 分	園 数				学級数	園 児 数				前 年 度 終 了 者 数
	計	国立	公立	私立		計	3歳	4歳	5歳	
平成17年度	254	1	179	74	669	13,231	2,382	4,084	6,765	7,012
18	246	1	171	74	676	13,205	2,418	4,110	6,677	6,898
19	241	1	166	74	673	13,169	2,378	4,077	6,714	6,826
20	234	1	159	74	650	12,704	2,333	3,991	6,380	6,932
21	229	1	155	73	648	12,519	2,306	3,950	6,263	6,499
22	226	1	152	73	649	12,427	2,506	3,848	6,073	6,415
23	222	1	148	73	627	12,350	2,526	3,983	5,841	6,213
24	220	1	146	73	626	12,544	2,621	3,904	6,019	6,035

(学級数は0人の学級を含む)

図1 園児数及び就園率の推移



## 2 小学校

(1) 学校数は309校(国立1校、公立307校、私立1校)で、前年度より公立が12校減少している。

表2 設置者別学校数(小学校)

(単位:校)

区 分	計	国 立	公 立			私 立
			計	本 校	分 校	
平成17年度	369	1	367	350	17	1
18	363	1	361	346	15	1
19	355	1	353	339	14	1
20	348	1	346	333	13	1
21	342	1	340	327	13	1
22	326	1	324	312	12	1
23	321	1	319	308	11	1
24	309	1	307	296	11	1

(2) 学級数は2,878学級で、前年度より40学級減少している。

学級種別でみると、単式学級が2,454学級、複式学級が133学級、特別支援学級が291学級で、前年度よりそれぞれ48学級減少、19学級減少、27学級増加している。

また、特別支援学級の全体に占める割合は10.1%で、前年度より1.1ポイント上昇している。

1校当たりの学級数は9.3学級で、前年度より0.2学級増加している。

表3 学級数(小学校)

(単位:学級)

区 分	計	単式学級	複式学級	特別支援学級	特別支援学級の占める割合(%)	1校当たりの学級数
平成17年度	3,015	2,647	182	186	6.2	8.2
18	3,055	2,695	171	189	6.2	8.4
19	3,027	2,660	168	199	6.6	8.5
20	2,990	2,620	163	207	6.9	8.6
21	2,950	2,577	156	217	7.4	8.6
22	2,918	2,526	154	238	8.2	9.0
23	2,918	2,502	152	264	9.0	9.1
24	2,878	2,454	133	291	10.1	9.3

(3) 児童数は62,256人(男子31,980人、女子30,276人)で、前年度より983人減少している。  
児童数は昭和58年度以降毎年減少が続いている。

1学級当たりの児童数は21.6人で、前年度より0.1人減少している。

表4 学年別児童数(小学校) (単位:人)

区 分	計	学 年 別 児 童 数					
		1 学 年	2 学 年	3 学 年	4 学 年	5 学 年	6 学 年
平成17年度	68,589	11,024	11,275	11,440	11,229	12,047	11,574
18	67,904	10,856	11,034	11,295	11,456	11,223	12,040
19	66,690	10,771	10,900	11,054	11,289	11,439	11,237
20	66,321	10,906	10,779	10,894	11,024	11,290	11,428
21	65,240	10,412	10,874	10,767	10,883	11,008	11,296
22	64,187	10,313	10,411	10,855	10,743	10,867	10,998
23	63,239	10,029	10,341	10,398	10,856	10,745	10,870
24	62,256	9,842	10,050	10,339	10,442	10,833	10,750

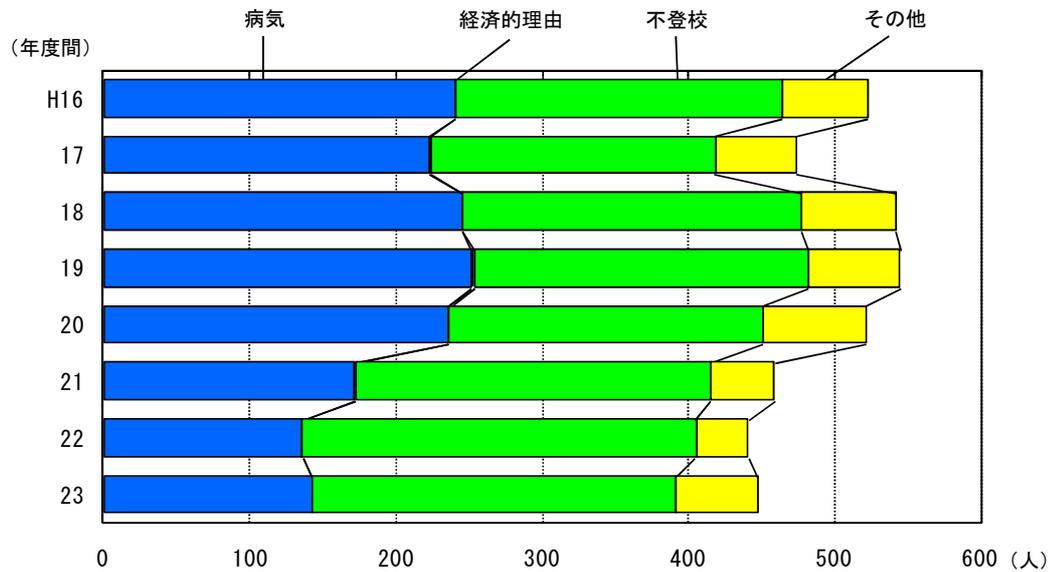
(4) 平成23年度間に30日以上欠席した児童は447人で、前年度間より7人増加している。  
長期欠席率は0.71%で、前年度間より0.02ポイント上昇している。

理由別にみると、不登校249人(55.7%)が最も多く、次いで病気が142人(31.8%)、その他56人(12.5%)、経済的理由0人(0%)の順となっており、前年度間よりそれぞれ20人減少、6人増加、21人増加、同数となっている。

表5 理由別長期欠席者数(30日以上)(小学校) (単位:人)

区 分	計	病 気	経 済 的 理 由	不 登 校	そ の 他	長 期 欠 席 率 (%)
平成16年度間	522	241	-	223	58	0.75
17	473	222	2	194	55	0.69
18	541	245	-	232	64	0.80
19	544	251	2	228	63	0.82
20	521	236	-	215	70	0.79
21	458	171	1	243	43	0.70
22	440	136	-	269	35	0.69
23	447	142	-	249	56	0.71

図2 理由別長期欠席者数（30日以上）（小学校）



(5) 教員数(本務者)は4,561人(男子1,616人、女子2,945人)で、前年度より54人減少している。男女別にみると、前年度より男子教員は16人減少し、女子教員は38人減少している。また、男女別の構成比は、男子教員35.4%、女子教員64.6%で、昭和56年度以降連続して女子教員が男子教員を上回っている。

本務教員1人当たりの児童数は13.6人で、前年度より0.1人減少している。

表6 教員数（本務者）（小学校）

（単位：人）

区分	計	男	女	国立	公立	私立
平成17年度	4,800	1,726	3,074	24	4,767	9
18	4,745	1,713	3,032	24	4,711	10
19	4,718	1,696	3,022	24	4,683	11
20	4,693	1,660	3,033	25	4,655	13
21	4,587	1,603	2,984	25	4,547	15
22	4,560	1,610	2,950	25	4,520	15
23	4,615	1,632	2,983	25	4,573	17
24	4,561	1,616	2,945	26	4,518	17

### 3 中学校

(1) 学校数は143校(国立1校、公立137校、私立5校)で、前年度より公立が1校増加している。

表7 設置者別学校数(中学校)

(単位:校)

区 分	計	国 立	公 立	私 立
平成17年度	150	1	145	4
18	151	1	145	5
19	149	1	143	5
20	148	1	142	5
21	143	1	137	5
22	142	1	136	5
23	142	1	136	5
24	143	1	137	5

(2) 学級数は1,254学級で、前年度より7学級増加している。

学級種別でみると、単式学級が1,112学級、特別支援学級が142学級で、前年度よりそれぞれ14学級減少、21学級増加となっている。また、特別支援学級の全体に占める割合は11.3%で、前年度より1.6ポイント上昇している。

1校当たりの学級数は8.8学級で、前年度と同数である。

なお、複式学級は、昭和49年度から該当なしとなっている。

表8 学級数(中学校)

(単位:学級)

区 分	計	単式学級	複式学級	特別支援学級	特別支援学級の占める割合(%)	1校当たりの学級数
平成17年度	1,184	1,107	-	77	6.5	7.9
18	1,176	1,102	-	74	6.3	7.8
19	1,171	1,097	-	74	6.3	7.9
20	1,242	1,160	-	82	6.6	8.4
21	1,241	1,151	-	90	7.3	8.7
22	1,227	1,129	-	98	8.0	8.6
23	1,247	1,126	-	121	9.7	8.8
24	1,254	1,112	-	142	11.3	8.8

(3) 生徒数は 32,893 人(男子 16,727 人、女子 16,166 人)で、前年度より 491 人減少している。生徒数は昭和 63 年度以降減少傾向が続いている。

1 学級当たりの生徒数は 26.2 人で、前年度より 0.6 人減少している。

表 9 学年別生徒数 (中学校)

(単位：人)

区 分	計	学 年 別 生 徒 数		
		1 学 年	2 学 年	3 学 年
平成17年度	35,305	11,586	11,879	11,840
18	34,954	11,516	11,560	11,878
19	35,047	11,958	11,537	11,552
20	34,604	11,153	11,944	11,507
21	34,336	11,315	11,130	11,891
22	33,610	11,181	11,302	11,127
23	33,384	10,937	11,160	11,287
24	32,893	10,777	10,942	11,174

(4) 平成 23 年度間に 30 日以上欠席した生徒は 1,160 人で、前年度間より 67 人増加している。長期欠席率は 3.47%で、前年度間より 0.22 ポイント上昇した。

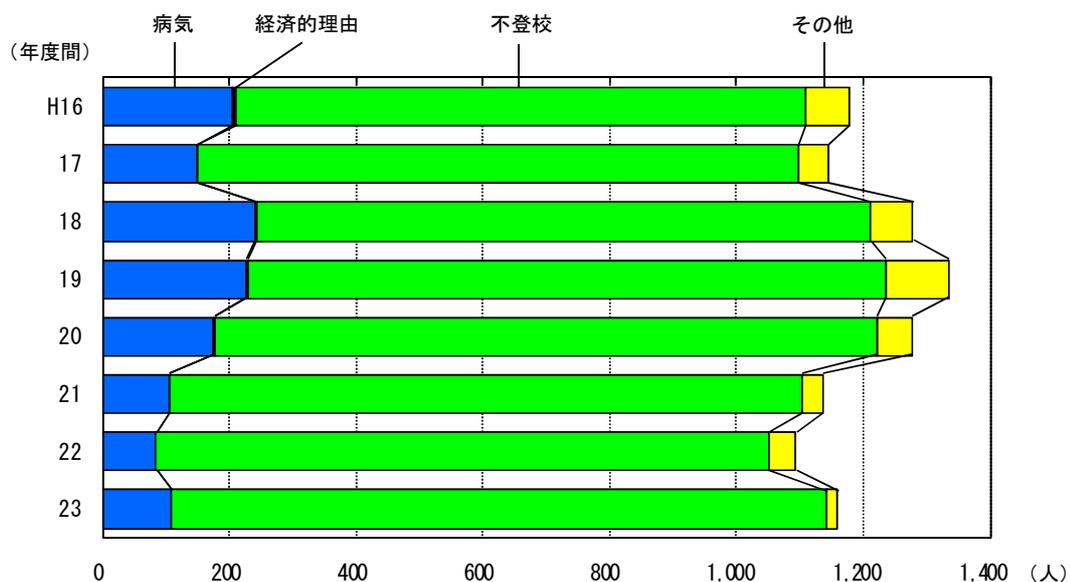
理由別にみると、不登校 1,031 人(88.9%)が最も多く、次いで病気が 110 人(9.5%)、その他 19 人(1.6%)、経済的理由 0 人(0%)の順となっており、前年度間よりそれぞれ 66 人増加、25 人増加、24 人減少、同数となっている。

表 10 理由別長期欠席者数 (30 日以上) (中学校)

(単位：人)

区 分	計	病 気	経 済 的 理 由	不 登 校	そ の 他	長 期 欠 席 率 (%)
平成16年度間	1,177	205	6	898	68	3.26
17	1,145	149	1	947	48	3.24
18	1,278	241	2	967	68	3.66
19	1,335	228	1	1,006	100	3.81
20	1,276	176	2	1,043	55	3.69
21	1,136	105	-	998	33	3.31
22	1,093	85	-	965	43	3.25
23	1,160	110	-	1,031	19	3.47

図3 理由別長期欠席者数（30日以上）（中学校）



(5) 教員数(本務者)は2,729人(男子1,604人、女子1,125人)で、前年度より1人減少している。男女別にみると、前年度より男子教員は7人減少し、女子教員は6人増加している。また、男女別の構成比は、男子教員58.8%、女子教員41.2%となっている。  
 本務教員1人当たりの生徒数は12.1人で、前年度より0.1人減少している。

表1-1 教員数(本務者)(中学校)

(単位:人)

区分	計	男	女	国立	公立	私立
平成17年度	2,784	1,656	1,128	21	2,735	28
18	2,789	1,658	1,131	22	2,720	47
19	2,761	1,629	1,132	21	2,691	49
20	2,746	1,632	1,114	22	2,674	50
21	2,746	1,636	1,110	23	2,672	51
22	2,739	1,622	1,117	22	2,664	53
23	2,730	1,611	1,119	22	2,654	54
24	2,729	1,604	1,125	22	2,658	49

#### 4 高等学校（全日制・定時制）

(1) 学校数は64(公立50校、私立14校)で、前年度より公立が1校増加している。

課程別にみると、全日制58校、定時制2校、全日制・定時制併置校4校となっている。また、本校分校別にみると、本校60校、分校4校となっている。

なお、公立のうち市立は1校で、他はすべて県立である。

表12 学校数（高等学校）

(単位：校)

区分	計	公立				私立
		計	全日制	定時制	併置	全日制
平成17年度	69	55	49	1	5	14
18	71	57	51	1	5	14
19	69	55	49	1	5	14
20	63	49	43	1	5	14
21	64	50	43	1	6	14
22	65	51	43	2	6	14
23	63	49	43	2	4	14
24	64	50	44	2	4	14

(2) 学科数(本科)は106学科(普通科42、商業科16、工業科14、農業科8、看護科6、家庭科6、総合学科4、福祉科4、水産科1、その他5)で、前年度より3学科増加している。

全学科に占める割合は、普通科が39.6%と最も高く、以下商業科15.1%、工業科13.2%の順となっている。(図4「学科数」参照)

(3) 生徒数は33,746人(本科33,290人、専攻科456人)で、前年度より119人減少している。男女別にみると、男子16,934人(本科16,862人、専攻科72人)、女子16,812人(本科16,428人、専攻科384人)となっている。(表13参照)

本科の学科別にみると、普通科が19,485人(58.5%)で最も多く、次いで工業科4,617人(13.9%)、商業科3,154人(9.5%)の順となっている。(図4「生徒数」、表14参照)

図4 学科数(本科)及び学科別生徒数(本科)の構成比(高等学校)

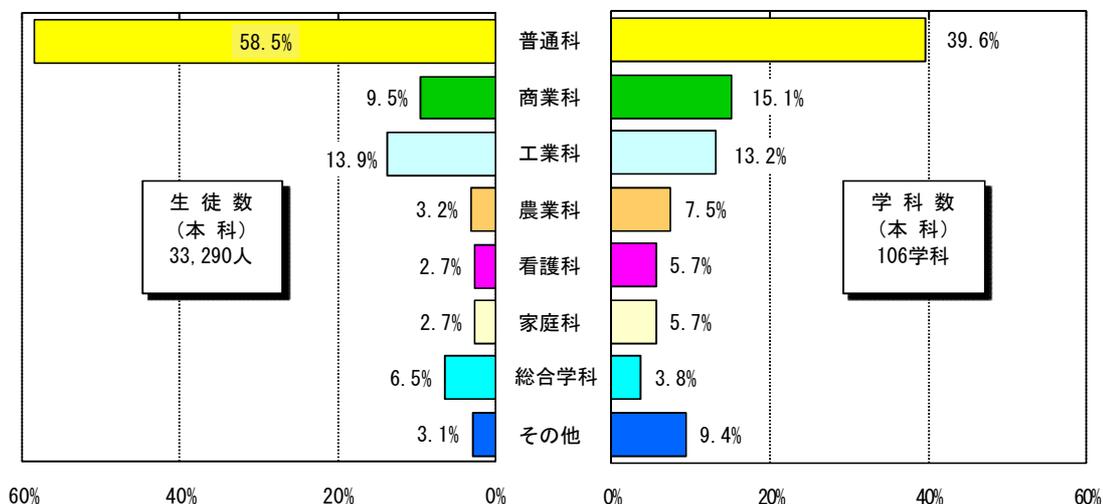


表 1 3 学年別生徒数（高等学校）

（単位：人）

区 分	計	本 科					専攻科
		計	1年	2年	3年	4年	
平成17年度	37,958	37,542	12,462	12,421	12,584	75	416
18	36,572	36,090	11,914	12,017	12,071	88	482
19	35,498	35,033	11,852	11,479	11,625	77	465
20	34,426	34,018	11,486	11,380	11,090	62	408
21	34,029	33,634	11,416	11,083	11,059	76	395
22	34,179	33,724	11,882	11,000	10,783	59	455
23	33,865	33,384	11,108	11,492	10,707	77	481
24	33,746	33,290	11,291	10,844	11,098	57	456

表 1 4 学科別生徒数（本科）（高等学校）

（単位：人）

区 分	本科計	普通	農業	工業	商業	水産	家庭	看護	福祉	総合 学科	その他
平成17年度	37,542	21,540	1,635	4,821	3,706	199	1,143	800	486	2,493	719
18	36,090	20,795	1,515	4,554	3,583	173	1,140	776	443	2,436	675
19	35,033	20,237	1,430	4,402	3,471	185	1,097	793	409	2,388	621
20	34,018	19,774	1,346	4,377	3,357	152	997	791	366	2,307	551
21	33,634	19,578	1,311	4,514	3,289	129	893	793	347	2,249	531
22	33,724	19,747	1,273	4,609	3,241	115	839	793	336	2,263	508
23	33,384	19,460	1,193	4,642	3,175	114	882	863	329	2,198	528
24	33,290	19,485	1,052	4,617	3,154	113	890	914	353	2,162	550

(4) 教員数(本務者)は2,741人(男子1,911人、女子830人)で、前年度より29人減少している男女別にみると、前年度より男子教員は21人減少し、女子教員は8人減少している。また、男女別の構成比は、男子69.7%、女子30.3%となっている。

設置者別にみると、公立2,114人(77.1%)、私立627人(22.9%)となっている。

表 1 5 教員数（本務者）（高等学校）

（単位：人）

区 分	計	公 立			私 立		
		計	男	女	計	男	女
平成17年度	3,005	2,392	1,730	662	613	415	198
18	2,941	2,342	1,694	648	599	402	197
19	2,864	2,254	1,647	607	610	406	204
20	2,781	2,188	1,581	607	593	391	202
21	2,808	2,195	1,558	637	613	401	212
22	2,822	2,211	1,568	643	611	387	224
23	2,770	2,138	1,526	612	632	406	226
24	2,741	2,114	1,502	612	627	409	218

## 5 特別支援学校

- (1) 学校数は、17校(国立1校、県立16校)で、前年度と同数になっている。(表16参照)
- (2) 学級数は、379学級で、前年度より11学級増加している。
- (3) 在学者数は、1,189人(男子755人、女子434人)で、前年度より36人増加している。部別にみると、幼稚部11人、小学部351人、中学部297人、高等部530人になっている。(表17参照)
- (4) 教員数(本務者)は、918人(男子370人、女子548人)で、前年度より12人増加している。
- (5) 通学状況についてみると、家庭から通学している者が955人と最も多く、次いで児童福祉施設からが137人、医療機関からが65人、寄宿舎からが32人となっている。

表16 特別支援学校の状況

(単位：校、人)

区 分	特別支援学校			盲 学 校			聾 学 校			養 護 学 校		
	学校数	在学者数	本務教員数	学校数	在学者数	本務教員数	学校数	在学者数	本務教員数	学校数	在学者数	本務教員数
平成17年度	...	...	...	1	40	50	1	57	60	14	922	743
18	...	...	...	1	34	48	1	53	58	14	950	765
19	16	1,040	871	...	...	...	...	...	...	...	...	...
20	16	1,064	874	...	...	...	...	...	...	...	...	...
21	17	1,087	886	...	...	...	...	...	...	...	...	...
22	17	1,126	889	...	...	...	...	...	...	...	...	...
23	17	1,153	906	...	...	...	...	...	...	...	...	...
24	17	1,189	918	...	...	...	...	...	...	...	...	...

表17 部別在学者数(特別支援学校)

(単位：人)

区 分	総 数			幼稚部	小学部	中学部	高等部
	計	男	女				
平成19年度	1,040	646	394	22	294	270	454
20	1,064	656	408	14	299	292	459
21	1,087	676	411	16	314	289	468
22	1,126	696	430	17	320	289	500
23	1,153	720	433	12	333	280	528
24	1,189	755	434	11	351	297	530

## 6 専修学校

- (1) 学校数は、44校(公立1校、私立43校)で、前年度より私立が1校増加している。
- (2) 生徒数は、5,018人(公立94人、私立4,924人)で、前年度より169人減少している。  
男女別にみると、男子2,099人、女子2,919人となっている。  
学科別にみると、最も多いのは医療関係 3,011人(60.0%)で、次いで工業関係 581人(11.6%)、文化・教養関係 570人(11.4%)の順となっている。
- (3) 教員数(本務者)は、392人(男子173人、女子219人)で、前年度より7人減少している。

表18 学科別生徒数(専修学校)

(単位:人)

区分	合計	工業 関係	農業 関係	医療 関係	衛生 関係	教育・ 社会福 祉関係	商業 実務 関係	服飾・ 家政 関係	文化・ 教養 関係
平成17年度	5,492	793	-	3,048	529	284	165	216	457
18	5,653	755	-	3,155	527	236	156	206	618
19	5,328	678	-	3,071	455	163	123	208	630
20	5,130	639	70	2,998	414	147	123	149	590
21	4,933	594	76	2,875	361	143	124	148	612
22	5,204	608	94	2,949	435	190	133	128	667
23	5,187	596	94	2,995	457	197	119	98	631
24	5,018	581	94	3,011	402	160	118	82	570

## 7 各種学校

- (1) 学校数は、20校(公立2校、私立18校)で、前年度と同数である。
- (2) 生徒数は、1,789人(公立464人、私立1,325人)で、前年度より76人増加している。  
男女別にみると、男子881人、女子908人となっている。  
学科別にみると、最も多いのはその他(自動車操縦を含む)1,252人(70.0%)で、次いで商業実務関係 175人(9.8%)の順となっている。
- (3) 教員数(本務者)は、141人(男子119人、女子22人)で、前年度より2人減少している。

表19 課程別生徒数(各種学校)

(単位:人)

区分	合計	工業 関係	農業 関係	医療 関係	衛生 関係	教育・ 社会福 祉関係	商業 実務 関係	服飾・ 家政 関係	文化・ 教養 関係	その他
平成17年度	2,390	60	-	79	15	-	169	102	249	1,716
18	2,244	35	-	82	13	-	153	80	243	1,638
19	2,478	45	-	96	5	-	164	77	256	1,835
20	1,830	44	-	93	9	-	150	87	261	1,186
21	1,926	43	-	96	5	-	162	85	249	1,286
22	1,998	40	-	42	-	-	180	80	285	1,371
23	1,713	38	-	44	-	-	311	85	90	1,145
24	1,789	45	-	107	-	-	175	107	103	1,252

## [2] 卒業後の状況調査（平成24年3月卒業者）

### 1 中学校卒業者

(1) 卒業者数は11,297人(男子5,757人、女子5,540人)で、前年より150人増加している。卒業者を進路別にみると、高等学校等進学者11,140人(98.61%)、専修学校(高等課程)進学者0人(0%)、専修学校(一般課程)等入学者0人(0%)、公共職業能力開発施設等入学者8人(0.07%)、就職者61人(0.54%)、その他88人(0.78%)となっている。

表20 進路別卒業者数(中学校)

(単位：人、%)

区 分	卒業者数 (A+B+C+ D+E+F+G)	高等学校 等進学者	専修学校 (高等課程) 進学者	専修学校 (一般課程) 等入学者	公共職業 能力開発 施設等入 学者	就職者	その他	(再掲) A、B、C、D のうち 就職者	高等学校 等進学率	就職率 就職者総 数(E+G)/T ×100	県内 就職率
	T	A	B	C	D	E	F	G	A/T × 100		
平成17年3月	12,414	12,218	31	6	4	69	86	20	98.4	0.7	84.3
18	11,842	11,647	28	10	9	62	86	5	98.4	0.6	92.5
19	11,885	11,683	39	13	8	73	69	5	98.3	0.7	88.5
20	11,545	11,384	2	8	4	66	81	3	98.6	0.6	91.3
21	11,511	11,350	5	2	4	59	91	9	98.6	0.6	92.6
22	11,890	11,722	2	3	1	51	111	1	98.6	0.4	82.7
23	11,147	10,992	4	7	3	54	87	7	98.6	0.5	86.9
24	11,297	11,140	0	0	8	61	88	4	98.6	0.6	83.1

(2) 高等学校等進学者数は11,140人(男子5,648人、女子5,492人)で、前年より148人増加している。進路区分別にみると、高等学校本科10,918人(うち全日制男子5,380人、女子5,310人、定時制男子72人、女子90人、通信制男子28人、女子38人)、高等専門学校158人(男子133人、女子25人)、特別支援学校高等部本科64人(男子35人、女子29人)となっている。

(表21「A」欄参照)

高等学校等進学率は98.6%(男子98.1%、女子99.1%)で、前年と同率となっている。なお、高等学校等進学率の全国平均は98.3%(男子98.0%、女子98.6%)で、大分県は九州第4位、全国第19位の進学率となっている。

(3) 就職者総数は65人(男子51人、女子14人)で、前年より4人増加している。このうち、進学者及び入学者で就職している者は4人となっている。

就職率は0.6%で前年より0.1ポイント上昇している。また、就職率の全国平均は0.4%で、前年と同率である。

就職者総数のうち県内に就職した者は54人で、前年より1人増加している。県内就職率は83.1%で、前年より3.8ポイント低下している。

表 2 1 設置者別・進路別卒業生数（中学校）

（単位：人、％）

区 分	合 計			国 立			公 立			私 立		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
T 卒業生数 (A+B+C+D+E+F+G)	11,297	5,757	5,540	157	78	79	10,912	5,567	5,345	228	112	116
A 高等学校等進学者	11,140	5,648	5,492	157	78	79	10,755	5,458	5,297	228	112	116
計	10,918	5,480	5,438	156	77	79	10,534	5,291	5,243	228	112	116
高等学校	10,690	5,380	5,310	156	77	79	10,306	5,191	5,115	228	112	116
本科（全日制）	162	72	90	-	-	-	162	72	90	-	-	-
本科（定時制）	66	28	38	-	-	-	66	28	38	-	-	-
本科（通信制）	66	28	38	-	-	-	66	28	38	-	-	-
高等専門学校	158	133	25	1	1	-	157	132	25	-	-	-
特別支援学校・高等部本科	64	35	29	-	-	-	64	35	29	-	-	-
B 専修学校（高等課程）進学者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C 専修学校（一般課程）等入学者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
D 公共職業能力開発施設等入学者	8	8	-	-	-	-	8	8	-	-	-	-
E 就職者	61	49	12	-	-	-	61	49	12	-	-	-
F 上記以外の者	86	51	35	-	-	-	86	51	35	-	-	-
G 不詳・死亡	2	1	1	-	-	-	2	1	1	-	-	-
H (再掲)												
Aのうち就職している者	4	2	2	-	-	-	4	2	2	-	-	-
Bのうち就職している者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Cのうち就職している者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Dのうち就職している者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高等学校等進学率 $A/T \times 100$	98.6	98.1	99.1	100.0	100.0	100.0	98.6	98.0	99.1	100.0	100.0	100.0
就職率 就職者総数 (E+H) / T × 100	0.6	0.9	0.3	-	-	-	0.6	0.9	0.3	-	-	-
高等学校本科（全日・定時）への入学志願者数	10,889	5,468	5,421	156	77	79	10,505	5,279	5,226	228	112	116

(4) 就職先を産業別にみると、第1次産業4人(6.2%)、第2次産業29人(44.6%)、第3次産業28人(43.1%)、その他・不詳4人(6.2%)となっている。

前年に比べ第1次産業は2人増加、第2次産業は12人増加、第3次産業は7人増加、その他・不詳は17人減少となっている。

表 2 2 産業別就職者数（中学校）

（単位：人）

区 分	計	男	女
計	65	51	14
第1次産業	4	4	-
第2次産業	29	29	-
第3次産業	28	15	13
その他・不詳	4	3	1

## 2 高等学校（全日制・定時制）卒業生

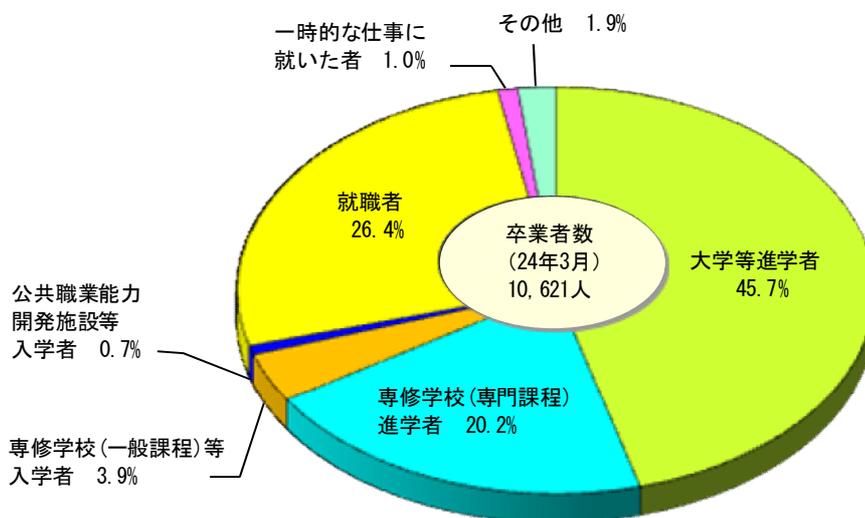
(1) 卒業生数は10,621人(男子5,442人、女子5,179人)で、前年より41人減少している。進路別内訳をみると、大学等進学者4,859人(45.7%)、専修学校(専門課程)進学者2,150人(20.2%)、専修学校(一般課程)等入学者415人(3.9%)、公共職業能力開発施設等入学者77人(0.7%)、就職者2,807人(26.4%)、一時的な仕事に就いた者108人(1.0%)、その他205人(1.9%)となっている。

表2-3 進路別卒業生数（高等学校）

(単位：人、%)

区分	卒業生数 (A+B+C+ D+E+F+G)	大学等 進学者	専修学校 (高等課程) 進学者	専修学校 (一般課程) 等入学者	公共職業 能力開発 施設等入 学者	就職者	一時的 な仕事 に就い た者	その他	(再掲) A、B、C、D のうち 就職者	大学等 進学率	就職率	県内 就職率
	T	A	B	C	D	E	F	G	H	A/T ×100	(E+H)/T×100	
平成17年3月	13,059	5,602	2,715	530	84	3,447	114	567	50	42.9	26.8	75.3
18	12,415	5,536	2,496	486	75	3,305	78	439	54	44.6	27.1	75.6
19	11,951	5,481	2,286	369	77	3,262	137	339	42	45.9	27.6	74.0
20	11,528	5,316	2,102	389	59	3,263	60	339	48	46.1	28.7	75.8
21	10,969	5,277	1,784	478	44	2,985	95	306	53	48.1	27.7	75.5
22	10,982	5,146	2,193	453	75	2,705	87	323	55	46.9	25.1	78.8
23	10,662	5,059	2,128	476	53	2,699	51	196	71	47.4	26.0	77.7
24	10,621	4,859	2,150	415	77	2,807	108	205	36	45.7	26.8	78.6

図5 進路別卒業生の構成比（高等学校）



(2) 大学等進学者数は4,859人(男子2,263人、女子2,596人)で、前年より200人減少している。進路区分別にみると、大学学部3,822人(男子2,127人、女子1,695人)、短期大学本科824人(男子108人、女子716人)、大学・短期大学の通信教育部3人(男子1人、女子2人)、大学・短期大学の別科1人(女子1人)、高等学校の専攻科209人(男子27人、女子182人)となっている。(表2-4「A」欄参照)

大学等進学率は45.7%(男子41.6%、女子50.1%)で、前年より1.7ポイント低下している。(図6「大学等進学率」グラフ参照) なお、大学等進学率の全国平均は53.5%(男子51.5%、女子55.5%)で、大分県は九州第2位、全国第33位の進学率となっている。

表 2 4 設置者別・進路別卒業生数（高等学校）

（単位：人、％）

区 分	合 計			公 立			私 立		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女
T 卒業生数 (A+B+C+D+E+F+G+H)	10,621	5,442	5,179	8,143	4,240	3,903	2,478	1,202	1,276
A 大学等進学者	4,859	2,263	2,596	3,747	1,766	1,981	1,112	497	615
大学(学部)	3,822	2,127	1,695	3,115	1,690	1,425	707	437	270
短期大学(本科)	824	108	716	623	70	553	201	38	163
大学・短期大学の通信教育部	3	1	2	3	1	2	-	-	-
大学・短期大学の別科	1	-	1	1	-	1	-	-	-
高等学校・専攻科	209	27	182	5	5	-	204	22	182
特別支援学校・高等部専攻科	-	-	-	-	-	-	-	-	-
B 専修学校(専門課程)進学者	2,150	920	1,230	1,601	659	942	549	261	288
C 専修学校(一般課程)等入学者	415	279	136	308	221	87	107	58	49
D 公共職業能力開発施設等入学者	77	70	7	61	55	6	16	15	1
E 就職者	2,807	1,763	1,044	2,236	1,452	784	571	311	260
F 一時的な仕事に就いた者	108	40	68	51	18	33	57	22	35
G 上記以外の者	205	107	98	139	69	70	66	38	28
H 不詳・死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-
進学就職者等 計	36	6	30	23	3	20	13	3	10
(再掲) Aのうち就職している者	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Bのうち就職している者	28	4	24	17	2	15	11	2	9
Cのうち就職している者	7	1	6	5	-	5	2	1	1
Dのうち就職している者	1	1	-	1	1	-	-	-	-
大学等進学率 A/T×100	45.7	41.6	50.1	46.0	41.7	50.8	44.9	41.3	48.2
就職率 就職者総数(E+I)/T×100	26.8	32.5	20.7	27.7	34.3	20.6	23.6	26.1	21.2

表 2 5 大学(学部)・短期大学(本科)への入学志願状況（高等学校）

（単位：人、％）

区 分	大学(学部)・短期大学(本科) への入学志願者数(現役)			大学(学部)・短期大学(本科) への進学者数			大学(学部)・ 短期大学(本科) 進学達成率(%)
	A		B		B/A×100		
	大学(学部)	短期大学(本科)	大学(学部)	短期大学(本科)			
平成17年3月	5,837	4,567	1,270	5,351	4,121	1,230	91.7
18	5,800	4,675	1,125	5,279	4,186	1,093	91.0
19	5,721	4,639	1,082	5,263	4,200	1,063	92.0
20	5,586	4,570	1,016	5,113	4,112	1,001	91.5
21	5,470	4,535	935	5,096	4,186	910	93.2
22	5,268	4,288	980	4,938	3,964	974	93.7
23	5,248	4,316	932	4,894	3,982	912	93.3
24	5,192	4,354	838	4,646	3,822	824	89.5

(3) 就職者総数は2,843人(男子1,769人、女子1,074人)で、前年より73人増加している。進学者及び入学者のうち就職している者は36人となっている。(表2 4「I」欄参照) 就職率は26.8%(男子32.5%、女子20.7%)で、前年より0.8ポイント上昇している。(図6「就職率」グラフ参照) なお、就職率の全国平均は16.8%(男子20.0%、女子13.6%)で、前年より0.5ポイント上昇している。

就職率を学科別にみると、高い順に、工業科73.5%、農業科66.2%、水産科65.7%、家庭科52.3%、商業科48.3%、福祉科46.2%の順となっている。(表2 6、図7参照)

就職者総数のうち県内に就職した者は2,234人で、前年より82人増加し、県内就職率は78.6%と前年より0.9ポイント上昇している。

表 2 6 学科別進路別卒業生数 (高等学校)

(単位：人、%)

区 分	卒業生数 (A+B+C+ D+E+F+G)	大学等 進学者	専修学校 (高等課程) 進学者	専修学校 (一般課程) 等入学者	公共職業 能力開発 施設等入 学者	就職者	一時的 な仕事 に就い た者	その他	(再掲) A, B, C, D のうち 就職者	大学等 進学率  A/T × 100	就職率  就職者総数 (E+H)/T×100
	T	A	B	C	D	E	F	G	H		
計	10,621	4,859	2,150	415	77	2,807	108	205	36	45.7	26.8
普通科	6,178	3,836	1,258	361	45	539	42	97	16	62.1	9.0
農業科	405	32	84	-	5	266	-	18	2	7.9	66.2
工業科	1,478	134	166	31	9	1,085	13	40	1	9.1	73.5
商業科	1,012	182	289	6	2	479	32	22	10	18.0	48.3
水産科	35	5	4	-	3	23	-	-	-	14.3	65.7
家庭科	283	75	41	4	1	147	10	5	1	26.5	52.3
看護科	247	200	36	-	-	8	2	1	6	81.0	5.7
福祉科	106	23	31	1	-	49	-	2	-	21.7	46.2
総合学科	724	248	229	3	12	205	9	18	-	34.3	28.3
その他	153	124	12	9	-	6	-	2	-	81.0	3.9

図 6 進学率・就職率の推移 (高等学校)

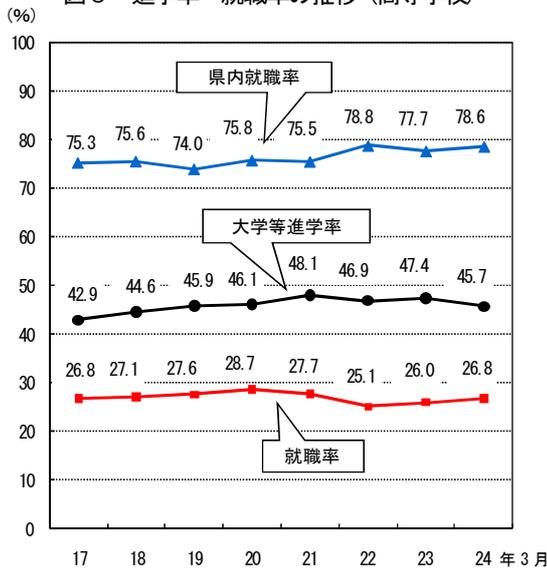


図 7 学科別進学率・就職率 (高等学校)

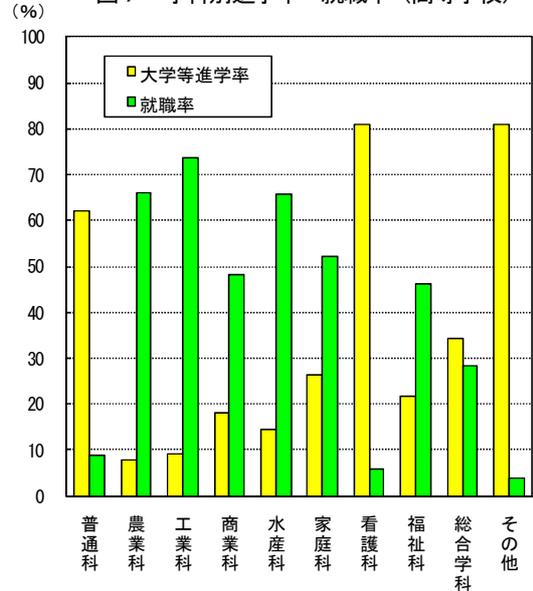


表 2 7 地元就職率の比較 (高等学校)

(単位：%)

区 分	地 元 就職率	区 分	地 元 就職率	区 分	地 元 就職率	区 分	地 元 就職率
[全国]	81.4	千葉	82.0	三重	88.5	徳島	77.6
北海道	91.9	東京	90.9	滋賀	89.3	香川	90.3
青森	56.6	神奈川	83.0	京都	81.7	愛媛	81.5
岩手	59.5	新潟	93.3	大阪	94.0	高知	59.1
宮城	76.9	富山	94.2	兵庫	86.9	福岡	82.6
秋田	63.4	石川	91.2	奈良	66.0	佐賀	60.2
山形	76.8	福井	87.6	和歌山	78.5	長崎	58.8
福島	71.0	山梨	89.5	鳥取	78.9	熊本	63.2
茨城	89.4	長野	91.9	島根	74.5	大分	78.6
栃木	81.8	岐阜	78.5	岡山	86.1	宮崎	58.8
群馬	91.3	静岡	94.0	広島	91.7	鹿児島	57.2
埼玉	76.2	愛知	96.7	山口	83.0	沖縄	64.3

(4) 就職者総数を職業別にみると、生産工程従事者が1,289人(45.3%)で最も多くなっている。

表28 職業別就職状況(高等学校) (単位:人)

区 分	計	男	女
計	2,843	1,769	1,074
専門的・技術的職業従事者	328	197	131
事務従事者	177	27	150
販売従事者	186	59	127
サービス職業従事者	480	155	325
保安職業従事者	123	106	17
農林業従事者	21	19	2
漁業従事者	11	9	2
生産工程従事者	1,289	990	299
輸送・機械運転従事者	61	61	-
建設・採掘従事者	100	98	2
運搬・清掃等従事者	23	17	6
その他	44	31	13

(5) 就職者総数を産業別にみると、製造業が1,186人(41.7%)と最も多く、次いで医療、福祉272人(9.6%)、建設業267人(9.4%)の順となっている。

また、県内就職者2,234人(男子1,281人、女子953人)では、製造業が911人(40.8%)と最も多く、次いで医療、福祉248人(11.1%)、卸売業、小売業217人(9.7%)の順となっている。

県外就職者609人(男子488人、女子121人)を就職先の都道府県別でみると、第1位が福岡県で219人(36.0%)と最も多く、次いで愛知県95人(15.6%)、大阪府59人(9.7%)、東京都56人(9.2%)の順となっている。

表29 産業別就職状況(高等学校) (単位:人)

区 分	就職者総数			うち県内就職者		
	計	男	女	計	男	女
計	2,843	1,769	1,074	2,234	1,281	953
農業、林業	25	21	4	25	21	4
漁業	10	9	1	10	9	1
鉱業、採石業、砂利採取業	5	4	1	4	3	1
建設業	267	248	19	199	181	18
製造業	1,186	883	303	911	640	271
電気・ガス・熱供給・水道業	49	40	9	19	12	7
情報通信業	11	1	10	11	1	10
運輸業、郵便業	92	75	17	69	54	15
卸売業、小売業	246	81	165	217	68	149
金融業、保険業	12	1	11	11	-	11
不動産業、物品賃貸業	11	5	6	9	3	6
学術研究、専門・技術サービス業	31	21	10	18	12	6
宿泊業、飲食サービス業	224	73	151	188	51	137
生活関連サービス業、娯楽業	99	28	71	80	20	60
教育、学習支援業	5	-	5	4	-	4
医療、福祉	272	65	207	248	56	192
複合サービス事業	37	16	21	33	14	19
サービス業(他に分類されないもの)	87	53	34	71	45	26
公務(他に分類されるものを除く)	138	118	20	83	73	10
その他	36	27	9	24	18	6